

不二速報



発行日 2006年6月1日
第1号（新執行部紹介号）

2006年度組合執行部の顔ぶれ

本年度は新執行部の立ち上げが遅くなってしまいましたが、ようやくメンバーがそろいましたので、新役員を紹介します。

★執行委員長・梅澤 収（教育学部支部）

4年前に書記長を務め、今回委員長に就任させていただきました。

まず感じたのは、団体交渉権をもつ組合となった証でもありましょうが、法人化前の組合と違って、大学本部との交渉回数が多くなっています。

そこで、法人化後の2年間の組合活動に学びながら、早川副委員長や松永書記長をはじめ執行委員のみなさんとしっかり取り組みます。もちろん、書記の山口（静岡地区）さんや吉村（浜松地区）さんの厳しく、暖かなサポートも期待しています。

それから、国立大学法人・静岡大学で働く教職員のみなさんにお願いがあります。他の国立大学の組合では過半数組合となった大学があちこち出てきています。静大では、正規職員のみなさんが結集していただければ可能となります。国立大学をめぐる環境は厳しくなり、これからますます労働・勤務条件や賃金問題が重要となってきます。

名古屋大学や宇都宮大学では大学内に保育園も開設されています。静大も、みんなで要求すればそのようなことが可能となると思います。いろいろな要望や期待を組合に寄せて下さい。そのような要望に応えられる、楽しく「力の湧いてくる」組合活動をめざします。

★副執行委員長・早川泰弘（工学部支部）

今年度の副執行委員長に選出されました工学部支部の早川です。15年ほど前に中執の書記次長を担当し、執行委員会で活動するのは今回が2回目です。独立法人化になり、大学の状況は大きく変化しています。教育・研究条件や賃金をはじめとする労働条件などの改善など問題が山積みです。微力ですが、役割を果たせるように努力する所存です。よろしくお願いいたします。

静岡大学教職員組合
静岡：
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:
054(236)0173 (直)
054(237)1111 (代)
2790 (内線)

E-mail
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：
〒432-8561
浜松市城北三丁目 5-1

TEL/FAX:
053(475)9035 (直)
3910 (内線)

E-mail
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

目次：

新執行部紹介	1～3
組合からのお知らせ	3～4

☆書記長・松永泰弘（教育学部支部）

書記長に選ばれた松永です。この数週間、書記長として組合活動に関わる中で、組合が学部・学科を越えて大学のすべての問題について大学と交渉できる権限を持った唯一の組織であることを強く感じています。

☆教育文化部・林 道生（情報学部支部）

20年（？）ほど前に執行委員をつとめて以来です。あの頃は少しは希望があったような気がします。今はつらい時代です。問題を正しく解決する能力の欠如でしょうか。事、異なれば則ち備え変ず、古人もすでに言っています。よろしく願いいたします。

☆組織法制部・鈴木久男（工学部支部）

数年前に支部の書記長や支部長を務め、今回執行委員を務めさせていただきます。私は、実質的には何も変わっていないのですが、本年4月より創造科学技術大学院専任となりました。そこで感じたのは、見かけはいろいろ変化していても実質が伴わない改革が進行中であるということです。法人化前と違って、今後は見かけに合わせて改革が進行すると考えられます。すなわち、実質的に大学本部との交渉が重要となって行くと思われます。

私の担当は組織法制なので、法人化後の最近の動きを注視し、特に今年度は教員の職階制度の変更が法律で決まりましたので、この問題に組合員のみならず静大教職員のみなさんと力を合わせてしっかり取り組んで行こうと思っております。大学院の仕事が新たに加わったような形になっておりますので非常に忙しく、特に浜松からの執行委員は副書記長の早川先生と私だけで、書記の吉村さんと早川先生には多くのご迷惑をおかけすることと存じますが、暖かなサポートも期待しております。

また、地方国立大学をめぐる環境は厳しくなると予想されますので、労働・勤務条件や賃金問題が重要となってきます。何より、楽しく働ける職場環境も非常に重要となって行くと思われます。今後の静大を支えて行くうえで、若い教職員の方のみならず、これまで貢献されてきて職場を熟知されている熟年世代の方々のご協力を得て、静大が益々良くなるように微力ながら皆さんと力を合わせ、楽しい組合活動を心がけます。

☆人事給与部・滝下正敏（本部・図書館支部支部）

69年から始まった定員削減で、これまでに208人の事務系職員が削減されましたが、その一方で、教員は300人ほど増えています。また、この間に教員の定年年齢は63才から65才に引き上げられましたが、事務系職員は60才のままです。

事務系職員にとって、年金問題はかなり深刻です。共済年金の支給開始年齢を65才からに段階的に引き上げようとしています（定額部分は既に引き上げが始まっている）。役員会側は「再雇用」で逃げようとしています。昭和28年4月2日以降生まれの人は、かなり深刻です。（詳細は運動方針で）

私は20年ぶりに執行委員に立候補しましたが、「教員と職員の労働条件の格差是正」を大いに訴えていきたいと考えております。しかし、事務系職員の定年年齢引き上げや組合員拡大は、教員の皆さんの協力無くしては実現しません。ぜひご協力をお願い致します。

☆組織法制部・板倉 美奈子（人文学部支部）

法務研究科・人文学部法学科（兼担）で国際法を担当しています。静岡大学に赴任したのは2年前です。これまでの2年間は組合員であるという以上に特に活動もしていなかったため、組合については全くの素人です。これからみなさんに色々ご教示いただきながら、組合活動のことや大学内外の情勢について勉強して、微力ながら職責を果たすことができるように努力しますので、よろしくお願ひします。

☆厚生部、教育文化部・香野 毅（教育学部支部）

教育学部で障害児教育を担当しています香野毅です。組合のやるべきこと、やろうとしていることがよくわからないままに執行委員となりましたが、その必要性だけは認識しているつもりです。教育文化部と厚生部の兼任という事態に戸惑いもありますが、元来の楽観主義にのっとり、やれるだけ勉強してみようと思います。この二つの部は共に組合員の自主的な参加に支えられています。どうぞよろしくお願ひします。

☆調査情宣部・郷式 徹（教育学部支部）

このたび執行委員になった教育学部の郷式（ごうしき）です。執行委員を務めるのは初めてで調査情宣といっても何をやるのかもよくわかっていないのですが、とりあえず松永書記長の指導の下立て看作りの手伝いなどを始めています。足手まといにならないようにやっていきたいと思っています。

「第1回団体交渉」日程決定！

★第1回団体交渉：6月26日（月）

- ①組合三原則の確認 ②労使関係・組合に対する基本姿勢 ③大幅賃金引下げ
- ④大学の将来像、人件費5%削減 ⑤調整手当東西格差 ⑥非常勤職員の労働条件
- ⑦再雇用職員の労働条件 ⑧人事・賃金に対する労働協約 ⑨その他

という内容で行います。

今回の交渉は、学長も出席しますので、現場の実況を伝えるいい機会です。

ぜひ、多くの皆さまの出席をお願いします。

「2006年度定期大会」開催について

静岡大学教職員組合公式HPも
ご覧ください。（随時更新中）
<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

働きやすい職場を
実現したいと思いませんか？

組合員のための組合



ともに、静岡大学を明るく、
働きやすい職場に
していきましょう！

ポスターとパンフレットがあります。
必要な方は書記局までお申し出下さい。

新しく着任された方に、
加入のよびかけをお願いします。



★2006年度第108回定期大会

日時 : 6月29日(木) 16:00～
場所 : 静岡キャンパス共通A棟5F大会議室
内容 : 2005年度活動報告、決算報告
2006年度活動方針、予算案 など
本年度執行部の方針が示されます。
すすんでご参加ください。



★静岡県女性協議会交流集会のお知らせ★

「いきいきと輝いて働き続けたい」をメイン・テーマとして、
今年も静岡県女性協交流集会在開催されます。

日時 : 7月8日(土) 10:00～16:00
場所 : 静岡県女性総合センター「あざれあ」
内容 : ・温暖化防止・環境保全を考える学習
・みなさんで楽しめる交流の企画 など

参加される方は、6月14日までに書記局までご連絡ください。

★浜松市母親大会★

日時) 6月26日(日) 10:00～16:00
場所) あいホール(浜松市男女共同参画推進センター)

分科会(10:00～12:00)

- ・憲法9条を変えないで ・何が大切? いのち 暮らし
- ・教育基本法が変わったら? ・職は生命の基本 文化の基本
- ・何でも民営化でいいの?アウトソーシング
- ・好奇心をバネにして生涯現役

全体会(13:00～16:00)

記念講演「アスベストによる被害のひろがりと今後の対策」

海老原勇氏(職業性疾患、疫学リサーチセンター理事長、医学博士)

参加希望者は、西部書記局まで。

